

楽器とその音楽の歴史をたずねて

——オーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロ——

様々な変化を重ねながら音楽史を生き抜いてきたオーボエ。一度は表舞台から退いたものの、後に復興を遂げたヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロ。それぞれの演奏家をお招きし、実演とともに楽器の歴史や構造・奏法について解説していただくことで、3つの楽器の魅力に迫っていきます。

演奏・解説



三宮 正満 Masamitsu San'nomiya オーボエ

武蔵野音楽大学卒業。フル・ジュ国際音楽コンクール第二位受賞。1996年より「パッサ・コレギウム・ジャパン」J.S.バッハ＝カンタータ全曲レコーディングに参加し、数々のオーボエ・オブリガートを演奏。ソリストとしてカーネギーホール、プラハの春音楽祭などに出演。2002年より東京藝術大学古楽科講師として後進の指導にもあたっている。'08年より田村次男、石館知子両氏と共にオーボエ製作を始め、ライブ化の名工アリエトア作のオーボエを復元し、国内外で演奏されている。ソロアルバム「ヴィルトゥオーソ・オーボエ」「19世紀バリのオーボエ作品集」「ヴィンター・デュオソナタ集」をリリース。現在「パッサ・コレギウム・ジャパン」首席オーボエ奏者、東京藝術大学古楽科講師。「Les Vents Romantiques Tokyo」主宰。



田中 孝子 Takako Tanaka ヴィオラ・ダ・ガンバ

福岡県出身。フランス・グルノーブル国立音楽院古楽器科修了。ヴィオラ・ダ・ガンバを C.アルヌー、チェンバロと通奏低音を A.ピュミル、室内楽を Ch.マゾー各氏に師事。欧州のマスタークラスにて W.クイケン、M.ミューラー、V.キエリミ各氏のレッスンを受ける。読売新聞社主催第 74 回新人演奏会出演。フランス語の文献講読に積極的に取り組み、M.コレット著『クラヴサン奏法の師(1753)』を葉形亜樹子氏とともに抄訳。S.ミリオ著『マラン・マル(1991)』の一部翻訳をヴィオラ・ダ・ガンバ協会会報に連載。2010年に東京でソロ・リサイタルを開催。以降、関東・仙台・福岡を拠点に演奏及び教育活動を行っている。
ブログ： <http://ttakako.blog83.fc2.com/>



中村 恵美 Emi Nakamura チェンバロ

パリ市立高等音楽院、パリ国立高等音楽院にてディプロムを取得し卒業。渡邊順生、ノエル・スピート、クリストフ・ルセ、オリヴィエ・ポモン他の各氏に師事。ソロ・リサイタル「フランスの風」や北とびお国際音楽祭2023参加公演「バロック&能」、2台チェンバロデュオDuo Muguetの活動など、自主公演を精力的に行う。通奏低音奏者としても数々のアーティストと共演している。ソロCD「デュオ作品集」朝日新聞推薦盤他、「W.バード and Japan」をリリース。
<https://www.emi-cembalo.com>

11.6 Wed 18:10 - 会場：
2024 19:40 成城大学7号館4階007教室

参加申込：10月30日までに下記URL（またはQRコード）のフォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/zy4DHPcACs6SQBrdA>

※本ワークショップは「芸術学・美術史実習b」の一環として実施されます。

※参加費無料 お申込多数の場合は、学生を優先のうえ抽選となる場合がございます。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※楽器のコンディションのための温度調整により、会場内が寒く感じられる場合があります。カーディガン等調整しやすい衣類のご持参をおすすめいたします。

